

【知識及び技能】音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えること。

【学びに向かう力、人間性等】「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動の関連を図り、芸術音楽の特質を理解すると共に、創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わうことができる生徒に育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴く、演奏することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
1 学 期	1. 校歌斉唱 【知】本校校歌の生い立ちや、歌詞の意味を理解し、これからの3年間の学校生活に期待を込め歌詞を覚えて歌い身に付ける。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持って工夫する。 【主】校歌に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組む。	★発声練習 1. 校歌の歩み 2. 校章との関わり 3. 音取り 4. 歌詞を暗譜して斉唱	○			【知】本校校歌の生い立ちや、歌詞の意味を理解し、これからの3年間の学校生活に期待を込め歌詞を覚えて歌えるか。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】校歌に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組める。	○	○	○	3
	2. 鑑賞 ミュージカル映画 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や楽器表現の特徴を理解する。 【思】ミュージカルの名曲から曲想、発声などを知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりを考える。 【主】作品が実話に基づくことから、第二次世界大戦における時代の考察や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	★「サウンド・オブ・ミュージック」を通して、背景を理解して鑑賞し、名曲の生い立ちを理解し、そこから音楽の力、歌の力を感じて感想文をまとめる。 「エーデルワイス」のギターでの弾き語り体験する。			○	【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や楽器表現の特徴を理解しようとしている。 【思】ミュージカルの曲想、発声などを知覚し、それらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりを考えようとする。 【主】作品が実話に基づくことから、第二次世界大戦における時代の考察や登場人物の心情に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組める。	○	○	○	4
	3. 器楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	★グレードごとにギター奏法の演習 ①ギターの基本事項 奏法の違い 基礎練習 ②「蝶々」「喜びの歌」他	○	○		【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2 学 期	3. 器楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組む。	★グレードごとにギター奏法の演習 ③「雨降り」、「メヌエット」などのギター2重奏 ④「一週間」「エーデルワイス」などの弾き語り	○	○		【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした楽器表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っているか。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしているか。	○	○	○	8
	5. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的にアンサンブルに取り組む。	①課題曲「小川高校校歌」の混声四部合唱 ②自由曲 読譜指導 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで	○		○	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	6
3 学 期	6. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組む。	①自由曲 ☆①各クラスごと読譜指導 ②各クラスごとの練習 パートリーダーを中心にパート練習、全体練習	○		○	【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感受しながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	4
	7. リズムアンサンブル 【知】正しいリズムの理解、それを手拍子表現できる。他者との調和を意識して、演奏する技能を身に付け表現できる。 【思】強弱、テンポ、テクスチャを知覚しそのように演奏するか表現位置を持っている。 【主】リズムパターンを理解し、他者とのアンサンブルを主体的・協働的に取り組む。	★クラッピング（手拍子）カルテット 第1番・第2番を用い、4パートに分けて、アンサンブルをする。		○		【知】正しいリズムの理解、それを手拍子表現できる。他者との調和を意識して、演奏する技能を身に付け表現できる。 【思】強弱、テンポ、テクスチャを知覚しそのように演奏するか表現位置を持っている。 【主】リズムパターンを理解し、他者とのアンサンブルを主体的・協働的に取り組もうとしているか。	○	○	○	6
										合計
										35

年間授業計画 新様式

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

芸術（音楽） 科目 音楽 I

教科： 芸術（音楽） 科目： 音楽 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～8組：前原 覚）

使用教科書：（音楽 I Tuuti Plus トゥッティ プラス（教育出版））

教科 芸術（音楽） の目標：

【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素及び音楽に関する用語や記号について、音楽における働きと関わらせて理解すること。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えること。

【学びに向かう力、人間性等】 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、音楽的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞の活動の関連を図り、芸術音楽の特質を理解すると共に、創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わうことができる生徒に育てる。

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解すると共に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらその良さや美しさ自ら味わって聴く、演奏することができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むと共に、感性を高め、音楽文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		歌	器	創						
1 学 期	1. 歌唱 【知】英語の発音を理解し、楽曲に応じた発声で歌唱できるようにする。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】ビートルズの作品に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	★発声練習 ・「ホール・ニュー・ワールド」 ・「Let it be」 ・読譜力の育成補助				【知】英語の歌詞の意味を理解し、楽曲に応じた発声で歌唱し、シンコペーションなどの歌詞を理解しながら歌う 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品の背景や社会に与えた影響などにも興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				6
	2. 鑑賞 三味線の種類と歴史について学ぶ 【知】三味線音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解する。また、三味線の種類と使われる分野（長唄、浄瑠璃など）を理解し、特徴をまとめる。 【思】共通のイメージを持って、分野ごとの音色や奏法の違いを聞き分け理解する。 【主】三味線音楽に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	☆教科書の邦楽の分野から、三味線音楽の特集を組んだレジュメより ①沖繩から本土へ三味線に ②上方から江戸へ ③歌舞伎音楽から江戸庶民の音楽へ ④西洋音楽や現代の音楽とコラボ				【知】三味線音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現（歌舞伎・長唄・人形浄瑠璃・地唄など）や三味線音楽の表現の特徴を理解しようとしている。 【思】共通のイメージを持って、分野ごとの音色や奏法の違い、三味線を使った西洋音楽の弦楽四重奏との比較を西洋音楽と邦楽の違いをまとめ、リズム、和声など明確な違いを理解する。 【主】三味線音楽に関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。				4
	3. 器楽 リコーダーの基本的な奏法とアンサンブル 【知】リコーダーを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にリコーダーの学習活動に取り組もうとしている。	★リコーダー二重奏 リコーダー導入曲  ※毎時間達成度をカードに記入  「いつも何度でも」 千と千尋の神隠しより他				【知】リコーダーを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付ける。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫や2人1組で共通のイメージをもって曲の特徴を生かした表現がよう試行錯誤したり意見を交換したりしながら演奏している。				8
2 学 期	4. 器楽 ギターの基本的な奏法とアンサンブル 【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。	★グレードごとにギター奏法の演習（1年次より続き） ③ギター2重奏 「メソエット」「きらきら星」 「シューベルトの子守歌」 完成したら毎時間小テスト、合格印をカードに記入				【知】ギターを通して、楽器の音色やリズムとの関わりについて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な知識や他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、ギターで表している。 【思】音色、リズムテクスチャを知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように演奏するか表現意図を持っている。 【主】音色の工夫やグレードごとに難易度が上がっていくことを自覚し、アンサンブルをしながら主体的・協働的にギターの学習活動に取り組もうとしている。				18
	5. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	①課題曲「はなさくら」の混声四部合唱 ②音楽選択者による混声四部合唱 「夢みたものは」 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで				【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				12
3 学 期	6. 合唱祭の練習・自由曲 【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。	①①自由曲 各クラスごとの練習 パートリーダーを中心にパート練習、全体練習 ②音楽選択者による混声四部合唱 「夢みたものは」 パートリーダーによる各パートの音取りから全体の完成まで				【知】曲想と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をしている。 【思】正しい発声に気を付け、リズム旋律を知覚しそれらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】合唱曲に興味・関心を持ち、主体的に・協働的に取り組もうとしている。				14
	7. 鑑賞 ミュージカル映画 【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解する。 【思】ミュージカルの名曲から曲想、発声などを聞き、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品が文学作品で、時代背景やどこの人ひとりどの点が「無情」か考えて、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	鑑賞ミュージカル映画 「レ・ミゼラブル」 の鑑賞をして、感想文の提出				【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴を理解している。 【思】ミュージカルの曲想、発声などを聞き、それらの働きを感じながら知覚したものと感受したことの関わりについて考え、どのように歌うか表現意図を持っているか。 【主】作品が文学作品で、時代背景やどこの人ひとりどの点が「無情」か考えて、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。				6
合計										68

教科名	芸術科	科目分類	必修選択
科目名	音楽Ⅲ	単位数	2 単位
学年	3 学年	担当者	前原 覚
教科書 使用副教材	Joy of Music(教育芸術社) ピアノ実技と楽典 (増補版) 音楽之友社		

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	
一学期	4	中間 12	楽典とソルフェージュ① 新曲視唱① 幼児のための童謡の弾き語り	1・2年時に習った音楽の基礎知識を確認し、保育志望の生徒が現場で役に立つ内容を学習する。童謡や簡単な曲に伴奏をつけ弾き歌いの技術を身に付ける。	関心・意欲・態度→授業態度(出席、提出物、練習態度)を最重要視し、実技試験、筆記試験の点数と共に総合的に評価する。	
	5		6 期末 12	楽典とソルフェージュ② 新曲視唱② 音楽理論(音楽系・保育系の進路対象者)	より発展的な読譜力、視唱力を養う。コードネームをキーボードで理解し、旋律に伴奏を付ける。	関心・意欲・態度→授業態度(出席、提出物、練習態度)を最重要視し、実技試験、筆記試験の点数と共に総合的に評価する。
	7	二学期		9	中間 14	楽典とソルフェージュ③ 新曲視唱③ 音楽理論 (音楽系・保育系の進路対象者) コードネームの応用 自由研究 課題発表(音楽家・アーティスト他)
10	11	12 期末	グループアンサンブルの練習と発表 バッハ作曲「G線上のアリア」 コンサート形式による 「童謡曲2曲の弾き歌い発表	キーボードやピアノでアンサンブルを通して合奏技術を養う。自信を持ち演奏できるよう計画的に練習する。またより高度な弾き歌いの技術を身に付ける。		関心・意欲・態度→授業態度(出席、提出物、練習態度)を最重要視し、実技試験、筆記試験の点数と共に総合的に評価する。
12	三学期		1	2 3 学年末	まとめ 器楽合奏「G線上のアリア」	グループでの器楽アンサンブルの発表

小川 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道I

教科：芸術

科目：書道I

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：小西優輝・古賀充代

使用教科書：（光村図書 書I

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の字形や線質の特徴について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 古典、古筆等の価値と根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。

【学びに向かう力、人間性等】 漢字の書体の変遷や仮名、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史や文化に関心を持ち、主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

科目 書道I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・知識 [表現] 古典・古筆等の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解する。 [鑑賞] 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解する。 ・技能 古典・古筆等に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。	[表現] 古典・古筆等の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫する。 [鑑賞] 古典・古筆等の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉える。	[表現] 主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組む。 [鑑賞] 主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組む。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢 仮	漢 仮						
○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 [表現] 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解させる。 [鑑賞] 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解させる。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。 [鑑賞] 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。 [鑑賞] 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。	・指導事項 [楷書] 孔子廟堂碑 九成宮醜泉銘 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 ・教材 光村図書 書I	○	○	○	【知識及び技能】 ・知識 [表現] 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 [鑑賞] 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価方法] 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	16	
○単元 漢字の書 【知識及び技能】 ・知識 [表現] 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 [鑑賞] 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・指導事項 [楷書] 雁塔聖教序 顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭義下碑 [行書] 蘭亭序 争座位文稿 蜀素帖 風信帖 上記古典を学び、様々な書体・書風、表現を学ばせる。 [創作] これまで学んだ書体・書風を生かして、生徒各自が選んだ漢文(熟語等も含む)を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞し、作品に応用させる。 ・教材 光村図書 書I	○	○	○	【知識及び技能】 ・知識 [表現] 古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 [鑑賞] 線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。 ・技能 古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 [鑑賞] 古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。 [鑑賞] 主体的に漢字の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 [評価方法] 【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。 【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。 【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。	○	○	○	20	

70	<p>○単元 仮名の書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。</li> <li>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。</li> <li>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 仮名の成立と種類についての説明。時代背景等、特徴的な筆遣いを理解させる。仮名の基本的な筆遣い（横の線、縦の線、転折、円運動、結びなど）を指導。</li> <li>平仮名・変体仮名の指導。</li> <li>・教材 光村図書 書 I</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> <li>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〔評価方法〕</p> <p>【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	○	○	6
3 学 期	<p>○単元 草書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解させる。</li> <li>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけさせる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫させる。</li> <li>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 草書 上記古典を学び、様々な書風、表現を学ばせる。</li> <li>〔創作〕 これまで学んだ仮名の書風を生かし、生徒各自が選んだ和歌を作品化させる。また様々な創作例を鑑賞させる。</li> <li>・教材 光村図書 書 I</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 線質や書風、用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化について理解している。</li> <li>・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</li> <li>〔鑑賞〕仮名の古筆の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に仮名の書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に仮名の書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〔評価方法〕</p> <p>【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	○	○	14
3 学 期	<p>○単元 漢字仮名交じりの書</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解させる。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解させる。</li> <li>・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけさせる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫させる。</li> <li>〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えさせる。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組ませる。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組ませる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項 漢字仮名交じりの書の特徴、歴史について指導。漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの表現の特徴を理解させる。また用具・用材の違いによる表現の違いも理解させる。</li> <li>創作を通して、作品制作の楽しさ、難しさ、表現の多様さを感じさせる。</li> <li>心に響く言葉、好きな言葉を素材に作品制作させる。</li> <li>作品鑑賞会により、生徒相互の意見を述べさせ、評価させる。</li> </ul>		<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識 [表現] 用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。</li> <li>〔鑑賞〕線質、字形、構成法の要素と表現効果や風趣との関わり、漢字仮名交じりの書の成立について理解している。</li> <li>・技能 目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】 [表現] 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。</li> <li>〔鑑賞〕創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】 [表現] 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> <li>〔鑑賞〕主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〔評価方法〕</p> <p>【知識及び技能】：机間巡視、提出物により判断する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】：行動観察や質疑、提出物の内容により判断する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】：授業への積極的な参加から判断する。</p>	○	○	○	○	6
								合計	62

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科： 芸術 科目： 美術 I 単位数： 単位 1  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組  
 教科担当者： （ 1～8 組： 笹田 宝誠 ）  
 使用教科書： （ 高校生的美術 I ）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 美術の基礎となる事項や造形的な学習を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、専門教科美術を学ぶ基盤となる資質・能力と美術を専門的に学ぼうとする態度を養う。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 美術の意義や創造活動を追求するための基礎となる美学や造形心理学などの諸理論を形や色彩、技法、材料や用具などに関する知識との関連を図りながら自分らしく表現できるようにする。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に美術作品や文化財、作家などについて研究したり、文化的な視野に立った美術批評をしたりするなどして、美術や美術文化を尊重する態度を養う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ ザ イ ン	映 射						
・自由な世界を描く（鉛筆画）  【知】 造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。  【思】 心に浮かんだイメージをもとに発想を広げ、夢や想像の世界をあらわす。  【主】 主体的に鉛筆のトーンを理解し、タッチを工夫しながら創造的に作品制作に取り組む。	・指導事項 ○鉛筆の種類の違いを説明し、鉛筆で表現できるトーンの違い理解させる。 ○光の方向と陰（影）を意識させ鉛筆画の中で立体感を表現させる。○タッチを工夫させ、物の質感表現を鉛筆で表現させる。  ・教材 B4ケントイラストレーションボード、鉛筆	○	○	○	【知】 形やトーンなどが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。  【思】 夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考え、イメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練っている。  【主】 主体的に鉛筆のトーンの違いを捉え、画面の中での光の方向と陰（影）を意識することで物の立体感の表現に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
・メッセージボードを作ろう  【知】 メッセージを伝えるデザインに関心をもち、メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成する。  【思】 飾るものや使用方法を考え、形や材料を工夫してメッセージボードについて構想を練る。  【主】 主体的に飾るものや使用目的について考え、形や色、構造を工夫してメッセージボードを制作する。	・指導事項 ○メッセージボードに関心をもち、飾るものや使う目的などから主題を生成させる。 ○安全面に配慮させ、正しい道具の使用方法を理解させる。 ○形や色、材料、構造などを工夫し、見通しをもって制作させる。 ○完成作品を鑑賞する。また、意図や工夫を感じ取らせながら、話し合いをさせる。  ・教材 教科書、白木のウェルカムボード、アクリル絵の具、鉛筆	○	○	○	【知】 主体的にメッセージの内容や伝える相手について考え、効果的に内容を伝えるデザインを工夫する表現の創造活動に取り組もうとしている。  【思】 飾るものや使用目的などから主題を生成し、形や色の組み合わせの効果やメッセージボードの機能などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。  【主】 主体的に飾るものや使用目的について考え、形や色、構造を工夫して、メッセージボードのデザインに取り組もうとしている。	○	○	○	15	
・瞳の中の世界  【知】 形や色などが感情にもたらす効果を理解し、自由に想像した世界を美しく描く。 【思】 夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する。創造豊かに自由にイメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練る。  【主】 主体的に夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組む。	・指導事項 ○想像した世界をあらわすことに関心をもち、不思議なことを想像することから主題を生成させる。 ○あらわしたいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫させ制作させる。 ○完成作品を鑑賞する。また、意図や工夫を感じ取らせながら、話し合いをさせる。  ・教材 教科書、B4ケントイラストレーションボード、アクリル絵の具、鉛筆、鏡	○	○	○	【知】 形や色などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、想像した世界を描いた作品を、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。  【思】 夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形や色、構図などについて考え、イメージを組み合わせるなど創造的な表現の構想を練ろうとしている。  【主】 主体的に夢や想像、自己を見つめて感じ取ったことや考えたことなどをもとにした表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10	
合計										35



教科名	芸術科		科目分類	必修選択
科目名	美術Ⅱ		単位数	2 単位
学年	2 学年	担当者	笹田 宝誠	

教科書 使用副教材	美術2(光村図書) ケントボード、アクリル絵の具一式、鉛筆各種、石粉粘土、アルミホイル、新聞紙、マスキングテープ
--------------	-------------------------------------------------------------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 12	(課題) 「文化祭のポスター」 ・課題の目的・内容・条件・留意点など、実例を見せて説明をする。	・ビジュアルデザインにおける視覚的効果や伝達機能について理解を深める。 ・発想や構想をしたことなどを基に、様々な表現方法や材料や用具などを工夫して独創的・創造的に表す。	・豊かな発想ができたか。 ・計画的に作業を進めことができたか。
	5				
	6	期末 12	・ビジュアルデザインにおける効果的な表現技法を実物や映像で提示し、説明をする。	・視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身に付けるようにする。	・ポスター特有の視覚的な伝達効果について理解を深めることができたか。 ・魅力的な配色効果を表現できたか。
	7				
二学期	9	中間 14	課題…スーパーリアリズム・河原の石 新聞紙、アルミホイルで芯を作り、その上から石粉粘土を盛り河原の石をそっくりにする、事情の内容を具体例を見せながら説明する。	・ヘラを活用し、石の持つフォルム、傷などを石粉粘土で本物そっくり再現させる。	・石を360度よく観察し、どの角度から見ても本物と変わらない石の形を作ることができたか。
	10				
	11	期末 12	・石粉粘土の盛り方、乾燥後の着彩の仕方を教える。 ・着彩のコツ、仕上げのコツを教える。	・石の持つ複雑な色をスパッタリングの技法を使ってアクリル絵の具で再現させる。	・技術的な工夫はできたか。 ・探求心を持ち作り込むことはできたか。
	12				
三学期	1	学年末 20	「紙パック飲み物」のパッケージデザイン ・ICTを活用し、形体や構造の把握及び制作に必要な基本的な図法を説明する。	・製品の規格を考えさせる。 ・キャッチコピー、製品名を考えさせる。 ・製品のイメージにふさわしいデザインを考えさせる。	・製品の内容とパッケージデザインが合っているか。 ・訴求性の高い美しいパッケージのデザインができているか。
	2				
	3				

教科名	芸術科		科目分類	必修選択
科目名	美術Ⅲ		単位数	2 単位
学年	3 学年	担当者	笹田 宝誠	

教科書 使用副教材	美術3(光村図書) 各自の個別課題に必要な画材・資料
--------------	-------------------------------

学期	月	予定時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
一学期	4	中間 12	「自由制作」 ・各自個別課題を考え決定させる。 ・進路に美術がどう関わるか確認し個別の課題を決めていく。	各自の進路に向けた課題を設定し、問題意識を持たせる。	自分独自の表現を目指して創造的に表すことができたか。
	5				
	6	期末 12	・課題に必要な材料・用具を準備させる。 ・制作計画を立てさせ、作業させる。	各自の課題に合わせて制作内容を考えさせる。	創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることできたか。
	7				
二学期	9	中間 14	「自由制作」 ・各自個別課題を考え決定させる。 ・進路に美術がどう関わるか確認し個別の課題を決めていく。	各自の進路に向けた課題を設定し、問題意識を持たせる。	自分独自の表現を目指して創造的に表すことができたか。
	10				
	11	期末 12	・課題に必要な材料・用具を準備させる。 ・制作計画を立てさせ、作業させる。	主体的に対象を見つめ考察を深めたり、表現材料などを研究し取り入れたりするなど、造形表現を追求する態度を養う。	創造的に発想し構想を練ったり、作品などに対する見方や感じ方を深めたりすることできたか。
	12				
三学期	1	学年末 20			
	2				
	3				